

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和2年 10月のHPきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1) 🚧 台風リスク予測 建物設計に反映 建設各社 AIなど活用
- (2) 📊 都市評価 大阪2位浮上 ビジネスと交通で首位
- (3) 🌐 日本の子「幸福度」最低水準 自殺率など高く
- (4) 👶 「待機児童ゼロ」目標遠く 3年連続減もなお1.2万人
- (5) 🧑‍🔬 紫外線でコロナ不活化 ウシオ電機と広島大が研究
- (6) 📊 「仕事でコロナ」労災申請が急増 経路不明でも認定可能に
- (7) 🧑‍🎓 幼稚園、4割で分散登園 再開後、負担増浮き彫り
- (8) 🏠 空室率、3月から上昇 大阪
- (9) 🚧 大林組、全建機を無人化へ 工事自動化 先行めざす
- (10) 🧑‍👦 生活満足度、コロナで低下 内閣府調査 初めて5点下回る
- (11) 🏢 社員がコロナ感染 心得は 専門家の話・企業の実例からみる
- (12) 🚧 建設資材 回復遅れ鮮明 需要期の秋に工事中止の影
- (13) 🧑‍🎓 小中学生、睡眠不足5割超す ニフティ調査
- (14) 🧑‍👦 「コロナ消毒」対応の迅速さカギ
- (15) 🏠 地方圏1万地点で下落 2020年基準地価
- (16) 🏠 ミナミ、1月比18.8%下落 キタ、3年ぶり最高地価



(1) 🚧 台風リスク予測 建物設計に反映

建設各社 AIなど活用

*台風の脅威が増す中、建設各社が強風の影響を予測し、建物の設計に反映させる取り組みを進めています。

*大成建設はAIを使い、風が建物全体にあたえる影響を予測するシステムを開発。

・今後100年間に予想される最大の風速を前提に建物への影響をシュミレーション。

*竹中工務店は将来の台風をシュミレーションするシステムを開発。

・今後、シュミレーションを基に強い台風にも耐えられる建物の設計を始めます。

(2020年9月4日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(2) 都市評価 大阪 2位浮上 ビジネスと交通で首位

- * 森記念財団都市戦略研究所が発表した2020年の「日本の都市特性評価」で、京都市が総合順位で1位、大阪市が2位。
- * 対象は東京都区部を除いた全国の主要109都市。
- * 京都市は研究・開発と文化・交流の分野で全国トップ。
- * 大阪市は経済・ビジネスと交通・アクセスの分野で首位。文化・交流の分野でも評価を伸ばしました。
- * 神戸市は前年に引き続き6位。
- * 奈良市が17位、吹田市が26位、西宮市が33位、姫路市が39位、大津市が44位。(2020年9月4日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 日本の子「幸福度」最低水準 自殺率など高く

ユニセフ 38カ国調査

- * 国連児童基金（ユニセフ）の先進・新興国38カ国に住む子供の幸福度調査。
- * 日本は生活満足度の低さ、自殺率の高さから「精神的な幸福度」が37位と最低レベル。「身体的健康」では1位で、経済的にも比較的恵まれていました。
- * 「精神的な幸福度」「身体的健康」「学力・社会的スキル」の3分野で指標化。
- * 15~19歳の10万人当たりの自殺率は、ギリシャは1.4人と最少で、日本は7.5人。

子どもの幸福度順位

総合		精神的な幸福度	
1	オランダ	1	オランダ
2	デンマーク	2	キプロス
3	ノルウェー	3	スペイン
20	日本	32	米国
21	韓国	34	韓国
36	米国	37	日本
38	チリ	38	ニュージーランド

(2020年9月4日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(4) 「待機児童ゼロ」目標遠く 3年連続減もなお1.2万人

保育需要 都市部追いつかず 4月時点

*待機児童数を2020年度末にゼロにする政府目標の達成が厳しくなってきました。

*3年連続で減少したものの、4月1日時点でまだ12,439人。

*25歳から44歳の女性の就業率は、2019年で77.7%と過去最高を更新。

*都市部の保育所が想定を超える需要に応えられていません。

*特定の施設だけを希望しているといった理由で集計から除外された「隠れ待機児童」は、74,840人と昨年より913人増。

*地方では若年層の流出を受けて保育所の定員割れも出始めました。

(2020年9月5日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(5) 紫外線でコロナ不活化 ウシオ電機と広島大が研究

*ウシオ電機と広島大学は、人体に害がないとされる特殊な紫外線で新型コロナウイルスの感染力を低減できることがわかったと発表。

*近距離で30秒ほど紫外線を当てると、表面に付着した新型コロナウイルスの99.7%を不活化できたといいます。

*医療施設や共有スペースの消毒を想定。

*ウシオ電機は9月1日から販売しています。

(2020年9月5日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(6) 「仕事でコロナ」労災申請が急増

経路不明でも認定可能に 医師や販売員など1000件超

*仕事が原因で新型コロナウイルスに感染したとして、労働者災害補償保険(労災保険)の申請が急増。

*仕事が原因の傷病を対象にする労災保険は、健康保険に比べ補償が手厚くなります。

*療養にかかる費用の自己負担はゼロ。

*休業中は休業補償給付として賃金日額の60%、休業特別支給金として同20%の計80%が支払われます。

*健康保険の66%に比べ割合が大きくなります。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- * 傷病が起きたことを示す「業務起因性」と、仕事中に発生したのかを問う「業務遂行性」の2要件を満たすことが必須。

感染経路不明の場合の認定プロセスは

- * 相対的に感染リスクが高い業務か？
- * 地方労災医員の専門的意見は？
- * 労働基準監督署の調査で、私生活での感染可能性が低いのか？

(2020年9月7日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(7) 幼稚園、4割で分散登園 再開後、負担増浮き彫り

- * 文部科学省の新型コロナウイルス感染拡大により休園していた幼稚園などを対象とした再開後の対応を巡る調査。

再開後の幼稚園・こども園の主な対応

感染対策

分散登園	4割
クラス分割	3割
空き教室など教室以外の活用	8割



負担が増えた業務

室内遊具やドアなど園内消毒	ほぼすべて
遊ぶ拠点の分散	6割
ネットでの情報発信	4割
保護者連絡	3割
家庭訪問、バスの消毒・便数の増加、検温などの健康観察との回答も	

(2020年9月8日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(8) 空室率、3月から上昇 大阪

- * 大阪中心部のオフィス空室率は、3月ごろから上昇。
- * 7月の空室率は2.71%となり、2月に比べ0.77ポイント上がりました。
- * 梅田地区の空室率は1.83%で、2月から0.93ポイント上昇。
- * 京都の6月末時点のオフィス空室率は0.6%で、3月末より0.1ポイント上昇。

(2020年9月9日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(9) 大林組、全建機を無人化へ 工事自動化 先行めざす

10年以内に、まずタワークレーン

- *大林組が三重県のダム建設現場で「無人工事」に挑んでいます。
- *タワークレーンの自動操縦に取り組み、10年以内にあらゆるメーカーの建機を無人で動かす仕組みを整える計画。
- *ダム工事現場で大型タワークレーンの自動操縦に取り組むのは、国内で初めて。

AIで風を検知

- *荷重や風によるクレーンの揺れをAIで検知。
- *熟練オペレーターの操作をクレーンに学習させ、加減速のタイミングを自動で調整。
- *約2万種の画像をAIに読み込ませ、自動で障害物を見分けて安全に運搬できるルートを導く機能を開発。

図面デジタル化

- *設計図や工事図面、竣工後の改修データをシステムで管理。
- *地形や障害物を3次元データにする仕組みも。
- *大林組は10年以内にすべての建機を自動運転する仕組みを構築する計画。
- *2017年の世界の建設会社ランキングでは、売上高上位30社のうち中国企業が12社で日本は4社。国内最大手の大林組も世界では15位。

人手不足、事業開拓急ぐ

- *建設業では、29歳以下の働き手は1割。
- *鹿島や大成建設も、全地球測位システム(GPS)を用いた工事の自動化に取り組みます。

(2020年9月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(10) 生活満足度、コロナで低下

内閣府調査 初めて5点下回る

- *新型コロナウイルスの感染拡大で、生活の満足度が下がっています。
- *内閣府の調査によると、満足度は10点満点中4.48点。感染拡大前の5.96点から1.48点低下。5点を下回ったのは、比較可能な2005年以降で初。
- *家事負担が増えたとされる女性や、重症化リスクが高い高齢者で満足度が下がっています。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

*コロナ前と比べ「生活の楽しさ・面白さ」「社会とのつながり」の満足度
の下落幅が約2点と大きくなりました。「仕事」は1点程度の下落。

*女性は満足度が1.70点下がり、男性の低下幅(1.26点)より大きくなりました。

*年代別にみると、60歳以上で低下幅が大きくなりました。

(2020年9月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(11) 社員がコロナ感染 心得は

専門家の話・企業の実例からみる

①行動追跡へ席固定

- *「職場内の感染をいかに防ぐか」が対応の焦点に。
- *最優先は保健所との迅速な連携。
- *社員には「感染したら会社にも一報を」と周知。
- ☆保健所と連携する第1の目的が、感染者と濃厚接触した社員の特定。
- *「以前は現場を訪れて判断していたが、最近は多忙になり電話で済ますことが多い」(東京23区のある保健所)。
- *フロアの見取り図や席次表を事前に用意。
- *会議出席者の記録も役に立ちます。
- *盲点は社員が自由に座席を選ぶフリーアドレス制。日本産業衛生学会は「禁止するか執務場所を限定するのが望ましい」と呼びかけています。
- ☆保健所と連携する第2の目的が消毒。
- *「社員による拭き取り作業でも効果は十分にある」(東京23区の保健所)。
- *企業は消毒方法や範囲について専門的な指示を受けられます。
- *業者選びに困ったら、消毒業者などで作る各都道府県のベストコントロール協会で紹介してもらえます。
- *1度の消毒に数十万円かかるのが相場のように。

②陰性証明は求めず

- *感染者は新型コロナにより就業不能状態にあるとみなされます。
- *「職場での感染が明らかで、かつ企業が感染防止の合理的な努力を怠っていた」などの例外を除けば、賃金や休業手当の「支払い義務は原則としてない」。
- *社員には、健康保険から支払われる傷病手当金を案内すると親切。
- *「発症から少なくとも10日が経過し、かつ、薬の服用を終えて症状もなくなってから72時間が経過している」ことが感染者の職場復帰の目安(日

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

本産業衛生学会)。

*濃厚接触者に会社が自宅待機を命じると「安全な職場を作るためという経営上の必要性」を伴うので会社都合とみなされ、休業手当が必要になる可能性。

*自宅待機の解除にあたって陰性証明書や治癒証明書を求めるのは禁物。

③公表は同意の上で

*車内に感染者が出た事実をどう開示するか。

*現時点では、どこまで公表すべきか一律の基準はありません。

*企業としての風評リスクや感染者に対する二次被害が懸念されます。

*半面、公表を怠れば対策が後手に回りかねず、不正確な情報が拡散する恐れも。

*感染症の罹患^{りかん}は個人情報に当たり、公表前には同意が必要。名前を伏せるのは勿論。

新型コロナ、社員が感染したら・・・

①保健所に連絡

職場の見取り図や席次表、直近の会議やランチの同席者など、感染者の接触に関する情報を提出



「濃厚接触者に該当するのは誰か」「職場で消毒すべき場所はどこか」保健所に判断・指示をあおぐ

フリーアドレス制は接触履歴を追跡しにくい。導入企業は運用見直しの検討を

②感染者・濃厚接触者は自宅待機

	職場復帰の目安	賃金・休業手当
感染者	発症から最低10日、服薬を終え症状もなくなってから72時間	原則として支払い義務なし
濃厚接触者	陰性でも、感染者に接触してから14日間	賃金は在宅勤務なら発生、休業手当も原則支払い義務

※状況により異なるため、保健所などの指示をあおぐのが良い。

復帰時の「陰性証明書」請求はNG。実効性に乏しく、医療機関にも負担に

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

③感染の事実を公表

バランスを考慮し、慎重に判断

感染拡大を防ぐ社会的責任

社員のプライバシー、風評被害の
リスク

※日本渡航医学会、日本産業衛生学会の対策ガイド、厚労省資料、専門家への聞き取りを基に作成。

(2020年9月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(12) 建設資材 回復遅れ鮮明

需要期の秋に工事中止の影

H形鋼出庫8月8%減

*建設資材に需要回復の遅れ。

*8月末時点のH形鋼の流通在庫は、7月末比0.5%減。減少は7か月連続。
問屋などからの8月の出庫量は前月比で8.6%減。

*H形鋼の東京地区の流通価格は、2019年末と比べ11%安。

*今年1~7月の鉄骨需要は、前年同期比で14%減少。

*型枠用合板も荷動きが停滞。

7月の輸入量は前年同月比で21%減。

月別入荷量は、2006年以降では最も少なくなっています。

型枠用合板の流通価格は、約6年ぶりの安値水準。

(2020年9月15日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(13) 小中学生、睡眠不足5割超す ニフティ調査

*平日の就寝時間は、小学生は午後10時ごろが最多で38%、中学生は11時ごろが最多で28%。

*小学生の51%、中学生の66%は睡眠不足。

2014年の調査では小学生の39%、中学生の64%が睡眠不足。

*睡眠不足の理由は、小学生は「家での勉強に時間がかかる」が最多で24%、中学生も同様に最多で26%。

*小学生の70%は学校で眠気を感じています。

(2020年9月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(14) 「コロナ消毒」対応の迅速さカギ

- * 職場で新型コロナウイルスに感染した人が出た場合、保健所の指示に応じて措置を講じるのが原則。
 - * 日本産業衛生学会などがまとめた「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド」は職場が求められる対応として、
 - ・ 事業者の責任で職場の消毒を実施すること
 - ・ 感染者の執務エリアなどの一部閉鎖を検討すること
- などを挙げています。

物品や空間の除菌のポイント

- * テーブルやドアノブの消毒には、塩素系漂白剤や家庭用洗剤などが有効
 - * 消毒や除菌効果をうたう商品は使用方法、有効成分、濃度、使用期限の4つのポイントを確かめる
 - * 定期的な換気の実施（周囲に人がいる状況で消毒用商品の噴霧はしない）
- ※出所：消費者庁などの公表資料

(2020年9月28日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(15) 地方圏1万地点で下落 2020年基準地価

福岡など4市は上昇維持

- * 新型コロナウイルスの感染拡大により、全国各地で地価が下落。
- * 2020年の地価調査（基準地価、7月1日現在）で全用途の全国平均が3年ぶりに下落。

東京圏

- * 東京圏の下落地点数は1463と前年の2.5倍に。
- * 全用途の平均地価は0.1%の上昇。
- * 住宅地が0.2%下落と7年ぶりのマイナス。
東京23区は、前年の4.6%上昇から1.4%の上昇に縮小。
- * 東京圏の商業地は1.0%上昇。

名古屋圏

- * 名古屋圏の地価は全ての用途で下落。
- * 商業地は8年ぶりに1.1%下落。
- * 住宅地は0.7%の下落。

大阪圏



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

*大阪圏の商業地は1.2%上昇。8年連続の上昇ですが、前年(6.8%)に比べ上昇率は縮小。

*住宅地は0.4%の下落と、7年ぶりに下落。

福岡圏

*地価の上昇率が縮小したものの、上昇基調は維持。


地方圏

*下落地点が前年より1000以上増えました。

*全用途の平均地価は0.8%下落。

(2020年9月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(16)  ミナミ、1月比18.8%下落 キタ、3年ぶり最高地価

関西商業地、大阪・京都以外は前年割れ

*関西2府4県の2020年の基準地価(7月1日時点)はわずかながら上昇基調を保った大阪、京都の商業地を除き軒並み前年割れ。

*大阪の商業地は8年連続の上昇。

関西2府4県の基準地価平均変動率(%)				
	商業地		住宅地	
	2020年	2019年	2020年	2019年
大阪府	1.8	8.7	-0.3	0.4
京都府	0.4	7.1	-0.8	0.1
兵庫県	-0.1	1.5	-1.1	-0.8
奈良県	-0.2	0.9	-1.3	-1.1
滋賀県	-0.5	0.4	-1.5	-0.8
和歌山県	-1.1	-0.7	-1.4	-1.2
大阪市	2.6	13.1	0.3	1.0
京都市	1.4	11.5	0.1	2.0
神戸市	1.3	5.5	0.2	0.7
奈良市	1.3	4.4	-0.3	0.3
全国	-0.3	1.7	-0.7	-0.1

(2020年9月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)